

事務事業名		木次駅前商業施設棟整備事業		所属部	産業振興部	所属課	商工観光課					
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	商工観光G	課長名	落合正成					
	施策名	〈39〉商業の振興		担当者名	奥井英孝	電話番号	0854-40-1054					
	目的	対象	市内の商業事業者	意図	A)売上を伸ばす。B)経営が安定する。							
	基本事業名	〈118〉地元購買の喚起と活性化		予算科目	会計	款	大事業	大事業名				
目的	対象	市内の商業事業者	意図	活性化と売り上げを伸ばす。			中事業	中事業名				
					0	1	3	5	0	5	業名	商工施設整備事業
					0	5	2	0	0	1	業名	木次駅前商業施設棟整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
H27.4月に閉店した、木次駅前の旧サン・チェリヴァの建物(1階から3階)を、㈱イズミヤから無償譲渡を受けた。 周辺住民の買い物物の利便性の確保と、商業活性化のため、施設を改修し、再オープンを目指すもの。 H28.3.9に、キーテナントに食品スーパー(㈱マルマン、㈱今井書店などを向かえ、14店舗で再オープンした。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 老朽化した施設の改修(1階から2階の商業スペース)と、入店するテナントの調整など。		28年度計画(28年度に計画する主な活動) H27単年度事業のためなし。				
	② 活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア	入店したテナント数	店舗			14	
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	雲南省の住民		ア	雲南省の人口	人			38,990	
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	地元購買力の向上		ア	地元購買率	%			80.4	
			イ						
			ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
調査設計業務	7,848千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
工事監理業務	5,886千円		県支出金	千円				
壁面清掃業務	4,410千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			273,463	
建築主体工事	147,177千円		事業費計(A)	千円		273,463		
機械設備工事	46,408千円	人件費	正規職員従事人数	人			1	
電気設備工事	61,575千円		延べ業務時間	時間			766	
			人件費計(B)	千円			2,998	
名称選定経費	159千円		トータルコスト(A)+(B)	千円			276,461	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市内購買力の流出が進み、旧サン・チェリヴァが閉店することとなった。	特になし	周辺住民からは、早期の再オープンを望む声が多く寄せられた。 議会からは、多額な経費をかけることに対しての必要性について、答弁を求められた。

事務事業名	木次駅前商業施設棟整備事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 今後、魅力あるテナントの誘致や、すでに入店しているテナントの努力により、地元購買力の向上を目指すことが必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 <input type="checkbox"/> 影響有	理由 施設整備は、単年度事業のため。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) 撤退した(株)イズミヤから譲渡を受けた施設の改修と、テナント調整が目的であり、特殊な事業であるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 施設建設後、21年が経過しており、躯体、機械設備等が老朽化しており、再オープンのために最低限の改修費を計上したため。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 テナントの出店交渉や、施設改築工事など多岐にわたり、削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 老朽化した施設等の改修であり、公平である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	予算の範囲内で、老朽化視した施設の改修を行い、テナント交渉を進め、H28.3月に再オープンすることができた。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				